

# トラックを走らせる限り、 CO<sub>2</sub>排出量削減は最大のテーマです。



## SGホールディングス株式会社



佐川急便と日本貨物鉄道の共同開発による電車型特急コンテナ列車「スーパーレールカーゴ」

SGホールディングス株式会社は、佐川急便を中核とした総合物流企業グループ全体の経営戦略や管理などの業務を担う会社。日本の物流業界のリーディングカンパニーとして積極的な環境負荷低減策を展開しています。

URL

<http://www.sg-hldgs.co.jp/>



環境対応車。今後はさらに環境負荷低減効果の高い自動車を導入していく

SGホールディングスグループ(以下、SGH)の事業の中核は「物流」、つまりモノを運ぶことです。

トラックや飛行機を使って運ぶため、常にCO<sub>2</sub>の排出という問題が伴います。

いかにして物流における環境負荷を減らしていくか・・・

SGHは、配送システム全体でのCO<sub>2</sub>の排出量削減に取り組んでいます。

### ◇佐川急便のトラック

早くから環境対応車の導入を進め、最近ではより環境負荷を低減させるハイブリットトラックや電気自動車も導入しています。

### ◇物流の効率化への取り組み

商品をSGHの中継センターや営業所に集約して保管・物流加工などを行い、一元管理することで、各工程間のトラック輸送を省き、トラックの台数や運行時間を大幅に抑える取り組み。輸送フローの効率化を図ることにより、環境負荷の低減につながっています。

### ◇モーダルシフト

トラックによる貨物輸送を、地球に優しく、大量輸送が可能な鉄道や船舶に転換していくことです。電車型特急コンテナ列車「スーパーレールカーゴ」による宅配便輸送では、東京/大阪間を毎日深夜に上下1便ずつ運行。1便の合計積載量は10トントラック28台分に匹敵するため、CO<sub>2</sub>の大幅削減の実現につながっています。

### ◇環境問題と地域の課題の両方を解決

2017年には旭川市のタクシー会社との提携。乗合タクシーの空いている時間帯に、配達業務を担ってもらおうという取り組みです。輸送トラックの台数削減、地域の交通インフラの維持、輸送にかかる労働力確保といった問題を同時に解決できる新たなソリューションとして注目を集めています。

### ◇環境教育への取り組み

自社事業として子どもを対象にしたエコ絵画コンクールや、自社で保有する森林を利用した自然とのふれあい体験会、稲作体験会を実施するなど、次世代を担う子どもたちへの環境教育事業にも積極的です。

## SGホールディングスの環境教育

### 写真左) 稲作体験

子どもたちに自然の恵みや食物の大切さ、水田が育む豊かな生態系を知ってもらうために稲作体験を実施

### 写真右) 自然体験

自社で保有・管理する森林での散策や間伐体験、間伐材を使った箸づくりなどの自然体験学習には、年間約500人の参加者が訪れる



SGホールディングス株式会社は、ユースの環境活動を応援しています。